

1 単元名 傷害の防止

2 単元の見目

- ・傷害の防止について関心を持ち、学習活動に積極的に取り組もうとする。 【関心・意欲・態度】
- ・傷害の防止について、課題の解決を目指して、科学的に考え、判断し、それら表現することができる。 【思考・判断】
- ・交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因やそれらによる傷害の防止、応急手当について、課題解決に役立つ基礎的な事項及び生活との関わりを理解することができる。 【知識・理解】

3 単元計画 (全9時間)

次時	主な学習活動	協同的探究学習場面における ○ 指導内容 ● 留意点
一 1	☆傷害の発生要因について理解し、話し合って予防・対策を考える。	○ 傷害の発生要因を理解し、事故や障害の予防や対策を考える。 ● 関連付けにより、人的要因と環境要因があることに気付かせる。
2	交通事故の要因を知り、交通安全について気を付けることを話し合う。	
3	☆交通事故場面における危険予測とその対策を考える。	○ 自転車運転時における危険を予測し、事故回避のためにどうしたらよいかを考える。 ● 交通規則を守るだけでなく、周囲の状況からも危険を予測できることに気付かせる。
4	☆身近で起こりうる犯罪被害を考え、その要因や対策を話し合う。	○ 犯罪被害の要因及び対策について考える。 ● 人的要因と環境要因の面から危険予測と対策を考えさせる。
5	自然災害が及ぼす生活への影響を知る。	
6	自然災害に対する生活の中で行える備えを話し合う。	
7	☆災害に対する身近にある支援や自分ができる対策を知る。	○ 災害発生時に自分ができることは何かを考える。 ● 関連付けにより、自助・共助・公助の連携が防災につながることに気付かせる。
二 8	応急手当の意義について話し合う。	
9	自分たちができる応急手当を知る。	

4 指導上の立場

○単元観

健康に適した快適な環境の維持と改善、傷害の発生要因とその防止及び応急手当並びに健康な生活行動の実践と疾病の予防について、個人生活を中心として科学的に理解できるようにする。

傷害の発生には様々な要因があり、交通事故などによる傷害は、人的要因、環境要因及びそれら相互の関わりによって発生することを理解させる。また、交通事故などの傷害の多くは、これらの要因に対する適切な対策を行うことによって防止できることを理解させる。

○生徒観 (既習事項と身につけている力)

小学校時に日常生活の危険が原因となって起こるケガの予防、それに伴う簡単な手当などを学習している。しかし、学習内容を自身の生活に置き換え、実践できる生徒は少ない。

○指導観 (協同的探究学習場面の位置付けとそのねらいについて)

課題を発見し、その解決を目指した活動をとおして、傷害の防止についての理解と危険予測やその回避方法等を考え表現させることをねらいとしている。

本単元では、第1次第1時及び第3時、第4時、第7時で協同的探究学習を取り入れる。第1時では、簡易な事故発生場面から、原因が2つの要因に分類できることに気付かせたい。第3時では、自転車事故の場面から、交通規則を守ることは勿論のこと、周囲の状況から危険を予測できると、危険を回避できることに気付かせたい。第4時では、日常生活において想定できる犯罪被害への対策を考えることで、犯罪を未然に防止できることに気付かせたい。また、第7時では、災害発生後の対応について考えることで、日頃から地域とのつながりを深め、災害に備えておくことの大切さに気付かせたい。

5 本時案（第1次 第1時）

(1) 本時の目標（わかる学力）

傷害の発生要因を理解し、事故や傷害の予防及び対策を考え表現することができる。

(2) 展 開

学 習 活 動	教 師 の 指 導 ・ 支 援		
<p>導入問題 自転車で登校中、道路で滑って転倒してしまいました。 事故の要因には、どんなものがあると考えられますか。</p>	<p>導入問題のポイント ・ 状況説明を少なくすることで、様々な場面を想像しやすくし、多くの考えを引き出せるようにした。</p>		
<p>個別探究 (ア) 路面の状況から考える (イ) 気象状況から考える (ウ) 自転車の状況から考える (エ) 運転マナーから考える (オ) その他から考える</p>	<p>考えを引き出す工夫 ・ 考えが浮かばない生徒には、具体的な場面を示し、事故の状況を想像しやすくした。</p>		
<p>協同探究</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">関連付け</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">人的要因</p> <p>スピードの出し過ぎ</p> <p>前を見ていない</p> <p>前かごに重たい荷物を載せていた</p> <p>突然パンクした(点検)</p> </td> <td style="width: 50%; border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">環境要因</p> <p>雨で道路がぬれていた(凍っていた)</p> <p>道路に凸凹があった</p> </td> </tr> </table> </div> <p>事故の要因への対策を考えることが、事故や障害の予防につながる。</p>	<p style="text-align: center;">人的要因</p> <p>スピードの出し過ぎ</p> <p>前を見ていない</p> <p>前かごに重たい荷物を載せていた</p> <p>突然パンクした(点検)</p>	<p style="text-align: center;">環境要因</p> <p>雨で道路がぬれていた(凍っていた)</p> <p>道路に凸凹があった</p>	<p>発表 ・ 様々な場面の想定から、生徒の考えを随時発表させた。</p> <p>関連付け ・ 運転手本人が原因のものと、それ以外が原因のものに着目して関連付けた。</p> <p>本質追究 ・ 関連付けにより、事故・傷害の発生要因が「人的要因」「環境要因」の2つに分類でき、これらの対策を考えることが傷害の予防につながることに気付かせた。</p>
<p style="text-align: center;">人的要因</p> <p>スピードの出し過ぎ</p> <p>前を見ていない</p> <p>前かごに重たい荷物を載せていた</p> <p>突然パンクした(点検)</p>	<p style="text-align: center;">環境要因</p> <p>雨で道路がぬれていた(凍っていた)</p> <p>道路に凸凹があった</p>		
<p>展開問題 体育館でバスケットボールを行う場合、事故を防止するためにどんなことに気を付ければよいか。</p>	<p>展開問題のポイント ・ 授業時間内での事案に置き換え、場面は違ってても事故や傷害の2つの発生要因から、予防対策が考えられるように設定した。</p>		

評価

A 規 準

協同探究で得た考えを参考にして、自分の言葉で、事故や傷害を予防するためにどうすればよいかを説明することができる。

B 規 準

協同探究で得た考えを参考にして、事故や傷害を予防するためにどうすればよいかを考えている。